

# 阪神港の取組状況

1. 国際基幹航路の誘致
2. 大規模高規格コンテナターミナルの形成
3. DXやGX、脱炭素化の取組
4. メディアを通じた広報活動
5. 社内体制の強化等



「ブレイリー」

2025年1月31日  
阪神国際港湾株式会社

# 1. 国際基幹航路の誘致

## ① 国際フィーダーネットワークを活用した西日本や日本海側からの集貨

- ・ 2024年4月 地方12港湾と「日本諸港利用促進事業」新設
- ・ 2024年8月 新たに地元港2港(伊万里港、薩摩川内港)と「日本諸港利用促進事業」連携。合計14港
- ・ 2024年8月 国際フィーダー航路が直江津港に寄港開始。便数88.5便/週 (11月時点)

## ② 戦略的なポートセールス・営業活動の実施

【国内】

- ・ 2024年 4月 阪神港集貨事業説明会 (4/17神戸、4/22大阪、4/24 東京)
- ・ 2024年 7月 阪神港セミナー (7/25熊本市)
- ・ 2024年 9月 国際物流総合展にブース出展 (9/10-13)
- ・ 2024年11月 阪神港セミナー (11/19富山県)



□ : 日本諸港利用促進港



# 1. 国際基幹航路の誘致

## ③戦略的なポートセールス・営業活動の実施

### 【海外】

- ・2024年 8月 神戸港セミナー (8/28ジャカルタ)
- ・2025年 1月 大阪港セミナー (1/22ムンバイ)

### 【トップセールス】

- ・2024年 4,5月 Hapag-Lloyd極東本社及びONEのGHQ(シンガポール)、Maersk本社(デンマーク)訪問
- ・2024年 6月 エバーグリーン、陽明海運、TSライン、ワンハイライズ訪問(台湾)

### 【経済団体・荷主等訪問】

- ・2024年 8月 コストコホールセールジャパン(株) (国交省同行)
- ・2024年 11月 経団連ロジスティクス委員会 (同上)
- ・2024年 11月 ヤマハ発動機(株) (同上)
- ・2024年 12月 (株)クボタ (同上)
- ・2025年 1月 (株)小松製作所 (同上)

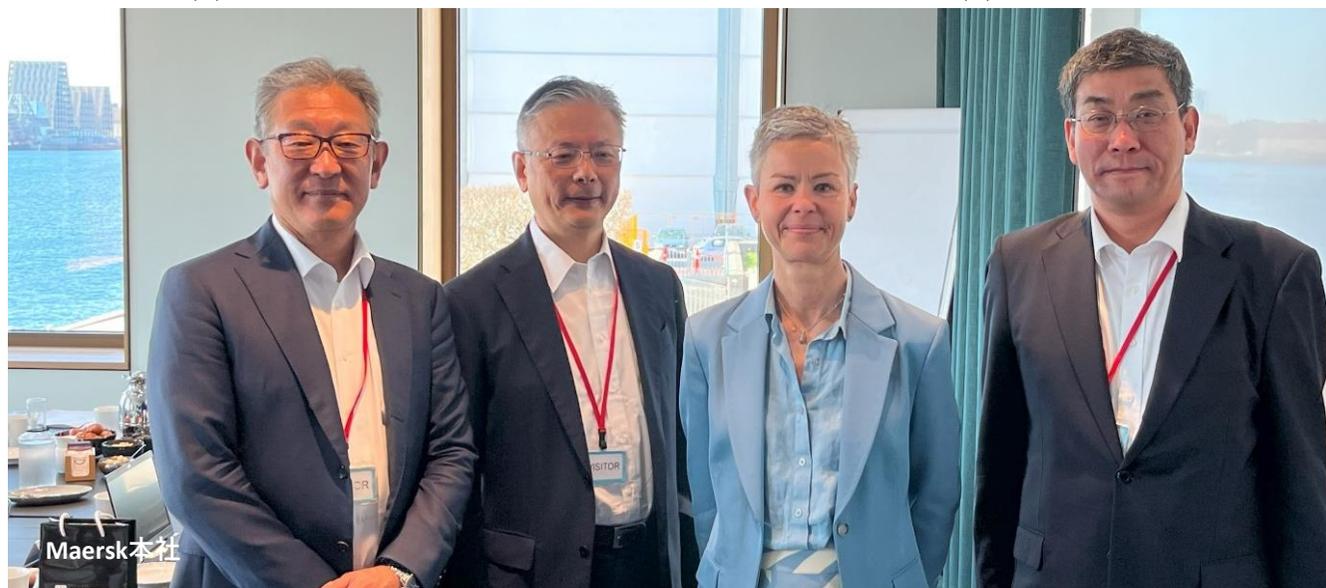
この他、(株)近鉄エクスプレス、SBSリコーロジスティクス(株)へも訪問



神戸港セミナー(ジャカルタ)



エバーグリーン本社



Maersk本社



## 2. 大規模高規格コンテナターミナルの形成

### ① 大規模高規格コンテナターミナルの形成

【神戸港】

六甲地区

- ・ 2023年 1月 RC6/7とRS-B/Cの一体工事完成

ポートアイランド2期地区

- ・ 2023年 3月 PC13-17再整備事業現地工事着手  
(2025年度供用開始予定)
- ・ 2023年11月 PC18拡張部供用
- ・ 2024年 4月 日新がPC14からPC13に移転完了
- ・ 2024年11月 PC13-17集中ゲート供用開始

【大阪港】

- ・ 2024年 7月 C12ガントリークレーン2基整備着手
- ・ 2025年 2月 C12延伸部集中ゲート供用開始予定

### ② 海外コンテナターミナル調査

- ・ 2025年 2月 ロッテルダム港、ハンブルク港調査予定



# 3. DXやGX、脱炭素化の取組

## ①大規模高規格コンテナターミナルにおけるDXや脱炭素化

- ・ニアゼロエミッションRTGを活用した水素を動力源としたRTG高度化実証事業を推進中

## ②コンテナターミナルの照明のLED化

- ・神戸港（14基）
- ・大阪港（夢洲地区17基、咲洲地区11基）整備中

## ③CONPASの運用

- ・運用開始 大阪港：2024年3月29日DICT  
神戸港：2024年9月27日PC18
- ・運用開始予定 神戸港：2025年度KICT

## ④CO2排出量の可視化

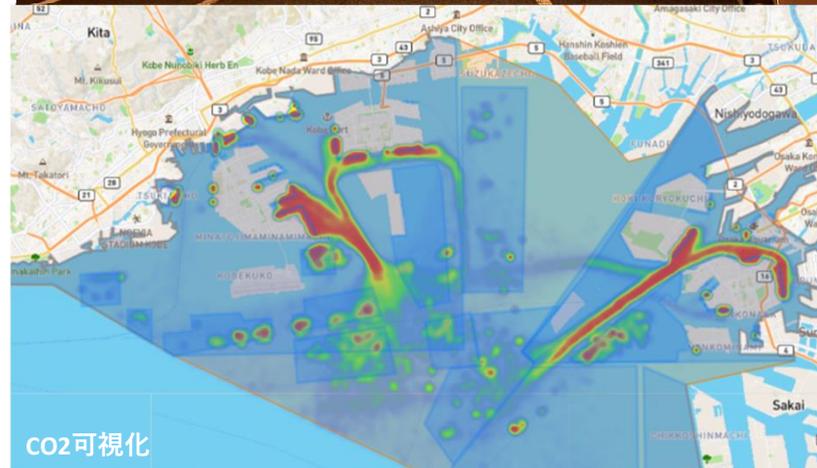
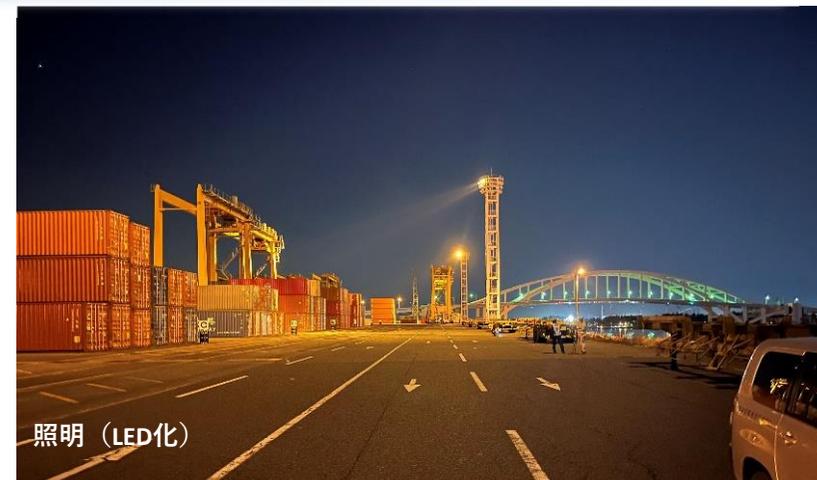
- ・2024年8月 海側可視化システム導入、2025年度ターミナル内可視化に向け検討中

## ⑤LNGバンカリング船

- ・2024年9月27日に起工式を実施し、2026年4月の就航に向けて建造中
- ・2024年4月10～12日 Sea Japan2024にブース出展
- ・2025年5月22～24日 バリシップにブース出展（予定）

## ⑥脱炭素先行地域の指定（神戸市）

- ・2025年度実施予定 太陽光パネルおよび蓄電池整備（KICT：CFSおよびゲートの屋根を活用）



# 4. メディアを通じた広報活動

## ①メディアを通じた広報活動

- ・ 2024年 6月 日本海事新聞 社長インタビュー
- ・ 2024年 7月 日本海事新聞「海の日特集」
- ・ 2024年 9月 海事振興セミナー 社長プレゼンテーション
- ・ 2024年10月 Wedge、日経ビジネス、  
マリタイムデリーニュース「設立10周年特集」  
日本海事新聞「日本港運協会特集」
- ・ 2024年10月 設立10周年記念式典開催（参加人数326名）  
各社プレス（マリタイムデリーニュース社、  
海事プレス社、日本海事新聞社、  
Daily Cargo、CyberShipping、神戸新聞、  
神戸経済ニュース）に掲載  
マスコット制作（名前：ブレイリー）
- ・ 2024年12月 ホームページリニューアル
- ・ 2025年 1月 神戸新聞(経済面) 震災30年特集（連載企画  
「実相 被災地経済」第7部）  
マリタイムデリーニュース「神戸港特集」  
日本海事新聞「2025年新年特集」
- ・ 2025年 2月 日経GX「水素荷役の実証について」（予定）



# 5. 社内体制の強化

## ■社内体制の強化

- ・ 2024年 4月 DX推進室設置
- ・ 2024年 4月 職務権限規程改正
- ・ 2024年 8月 情報管理委員会、コンプライアンス委員会開催
- ・ 2024年 7,8月 人材育成研修（メンタルヘルスケア研修、コミュニケーション研修等）
- ・ 2024年 9,10月 コンプライアンス研修
- ・ 2024年11,12月 人事考課研修

## ■中期経計画の策定

- ・ 2025年3月 最終とりまとめや運営計画を反映させた中期経営計画（2025-2029）を策定予定

基本戦略案（概要）

